

特集 日本看護系大学協議会国際交流推進委員会企画・  
Dr. Patricia A. Grady 特別講演

# Example of a National Research Model

Patricia A. Grady / 監訳：戸部浩美，後藤大地，真田弘美

174

特別記事

## 介護予防をめざす医療介護給付データ分析と 自治体・大学との研究協働

—— 南大阪医療介護(SOHA: the Southern Osaka Health and Aging)スタディ

河野あゆみ，福島奈緒美，三浦剛，金子勝規，石原拓磨，吉行紀子

198

連載 インタビューデータ分析の質向上のための NVivo 活用術・4

## NVivo を活用した文献検討

文献整理ソフト「EndNote」との連携で論文執筆に活かす 萱間真美

208

集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・12

## 社会のために何ができるか，誰を幸せにできるか

研究を通して考え続ける 長山豊

165

書評 『もやもやした臨床の疑問を研究するための本 —— 緩和ケアではこうする』  
「なんとかしたい!」臨床疑問を研究にする技術 宮下光令

194

特別記事

Explanation and elaboration paper (E&E) for the Guideline for Reporting Evidence-based practice Educational interventions and Teaching (GREET) 2016

概説：根拠に基づく実践の教育的介入と教育の報告ガイドライン (GREET) 2016

友滝愛, 加藤尚子, 柏原康佑, 木戸芳史, 本田順子, 深堀浩樹

222

〈全訳〉Anna C. Phillips, Lucy K. Lewis, Maureen P. McEvoy, James Galipeau, Paul Glasziou, David Moher, Julie K. Tilson, Marie T. Williams

翻訳：友滝愛, 加藤尚子, 柏原康佑, 木戸芳史, 本田順子, 深堀浩樹

228

今月の本 206

バックナンバー 263

次号予告・編集後記 264